

On the Way to the Future:

12 Newcomers of Art, Craft and Design

未来の途中

- 美術・工芸・デザインの新鋭 12 人展

2014 年 1 月 14 日(火) - 2 月 28 日(金)

開館時間 10:00 - 17:00 (入館は 16:30 まで)

休館日: 日曜日・祝日、1 月 18 日(土)、2 月 25 日(火)・26 日(水)

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

一般 200 円、大学生 150 円、高校生以下無料

京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料

出品作家 池田精堂、太田勲、岡達也、岡山高大、小倉智恵美、楠本孝美、ジュリー・ペレイラ、
神馬啓佑、田中幹、寺岡海、中西瑞季、山本晃久



主催 文化庁、京都工芸繊維大学美術工芸資料館
制作 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
文化庁委託事業「平成 25 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

未来の途中 - 美術・工芸・デザインの新鋭12人展

On the Way to the Future: 12 Newcomers of Art, Craft and Design

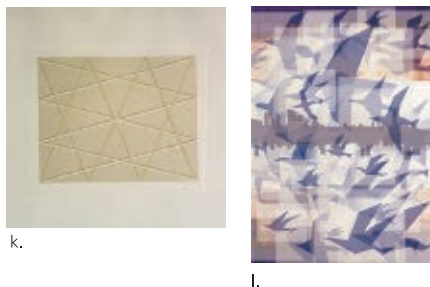
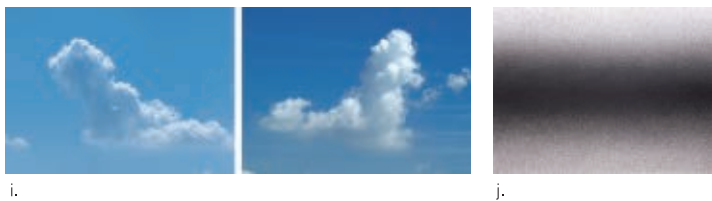
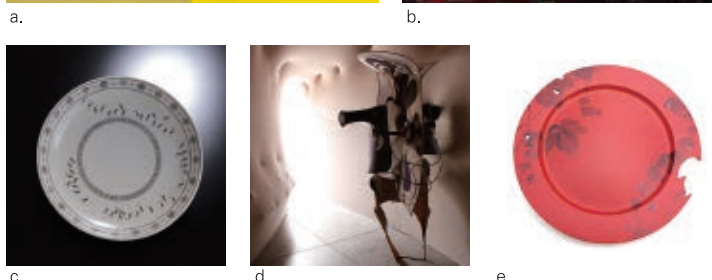
京都工芸繊維大学美術工芸資料館では、「未来の途中—美術・工芸・デザインの新鋭12人展」を開催します。本展覧会は、京都を中心に関西を拠点として活動し、次代の美術・工芸・デザイン界を担う力となる20歳代30歳代の若手クリエイター12名のフレッシュな表現を紹介するものです。

美術系大学を卒業/修了し、プロとして歩み始めたばかりの若い作家たちは、実のところ自らを切磋琢磨できる場を十分に持つことができません。新進クリエイターにとって市場も批評も十全に機能しているとは言えない現状にあって、大学ができる若手の育成とは何か。それを作家たちとともに考えながら実現していきたいと考えています。

その意味で本展は、若手作家の発表機会であるとともに鑑賞者のみなさん一人ひとりから自由に意見をいただく多角的な批評の場でもあります。

現今の表現を見据えながら未来のクリエイションを生み出そうとする彼らの作品には、熱意溢れる混沌から凝固しつつある個性が見て取れるでしょう。定まらない未来への途上にある若手作家たち12名の創造力を、鋭い眼差しを持って、存分にお楽しみ下さい。

*本展覧会は、文化庁平成25年度助成「大学美術館を活用した美術工芸分野新人アーティスト育成プロジェクト」として採択された事業の一環として開催されるものです。



a. 楠本孝美《anoare#8》2013年 / b. 神馬啓佑《幻想的廢材》2013年 / c. 岡山高大《黒印花蠅蠅皿》2013年 / d. 池田精堂《self portrait》2013年 / e. 太田勲《干菓子盆 篇》2013年 / f. ジュリー・ペレイラ《プリプリダンス、八岐の浮き園に》2010年 / g. 小倉智恵美《白竹花模様茶托》2009年 / h. 山本晃久《海獣葡萄鏡》2013年 / i. 寺岡海《雲を反対側から同時に撮影する / 2011年9月13日(火)12時15分》2011年 / j. 田中幹《sw-247(No Scrubs)》2013年 / k. 中西瑞季《無題》2012年 / l. 岡達也《夕景》2013年 (全て参考図版)

作品を評価してください!!
 出品作家たちは皆様からの感想・意見・批評を待っています。皆様からいただけるいろいろな言葉が若い作家たちの糧となります。辛口の批判、ここが気に入った、何でも結構です。
 館内にある「鑑賞者の眼シート」に気になった作品/作家とコメントをご自由にお書きいただき、備え付けのボックスに投函ください。

関連イベント情報

※いずれも参加費無料・申込不要
 (展覧会会場で開催するイベントにつきましては、入館料が必要です。)

アーティストトーク

日時: 2月8日(土) 13:00-14:30、2月15日(土) 13:00-14:30
 *各日6名程度のトークを予定。
 メンバーについては美術工芸資料館ホームページをご確認ください。
 会場: 美術工芸資料館2階

トークセッション1: アーティストの成長と展示

日時: 2月8日(土) 15:00-17:00
 出演: 中谷至宏 (PARASOPHIA 京都国際現代芸術祭キュレーター)、
 西川勲 (ギャラリーマロニエ)、正木裕介 (Gallery PARC)、
 会場: 京都工芸繊維大学プラザ KIT

公開制作: 寺岡海—ハレンタインデーに星をつくる

日時: 2月14日(金) 16:30-18:30
 集合場所: 美術工芸資料館前 (※雨天・荒天中止)

トークセッション2: キュレーターの眼、アーティストの眼

日時: 2月15日(土) 15:00-17:00
 出演: 保坂健二郎 (東京国立近代美術館主任研究員) + 本展出品作家
 会場: 京都工芸繊維大学プラザ KIT

展覧会をふりかえる

会期終了後、出品作家が展覧会を振り返り、意見交換を行なう場を設けます。
 作家同士の討議の場ですが、ご観覧もしていただけます。
 詳細は美術工芸資料館ホームページで公開します。

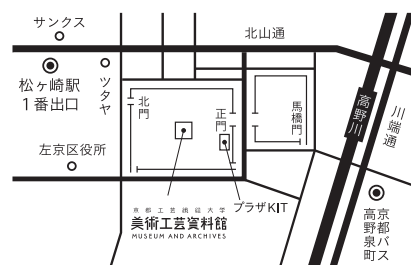
同時開催

京都工芸繊維大学アートマネージャー養成講座企画
 「染色芸術の世界—鶴巻鶴一と中堂憲—」

京都工芸繊維大学美術工芸資料館
 606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
 Tel 075-724-7924, <http://www.museum.kit.ac.jp/>
 Kyoto Institute of Technology, Museum and Archives
 Hashigami-cho, Matsugasaki, Sakyo-ku, Kyoto, 6068585, Japan

●JR「京都」駅、市営地下鉄「烏丸御池」駅から市営地下鉄烏丸線「国際会館」行に乗車、「松ヶ崎」駅下車、徒歩約8分(「松ヶ崎駅」の「出口1」から右(東)へ約400mm、4つ目の信号を右(南)へ約180m)
 ●京阪「出町柳」駅5番出口から京阪バス「大原」行、「岩倉実相院」行、「岩倉村松」行に乗車、「高野泉町」下車、橋を渡り左へ約200mm(徒歩約8分)

By Subways:
 Take the "Kokusai Kaikan" bound Karasuma Lines Subway to "Matsugasaki" Station, and walk east for about 8 min.



京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
 MUSEUM AND ARCHIVES